



トンカチ工作

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- いろいろな形状の廃材を利用し、それを釘などでつなぎ合わせることで、自由な発想で自分なりの作品を仕上げることができます。
- 「かなづち」や「のこぎり」など、用具の安全な使い方を指導することで、便利で安全な使い方を習得することができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作など 中学校：美術、技術・家庭など

2 活動の概要

山積みにしたいろいろな形状の廃材をもとに、自由な発想で切ったり、つなぎ合わせたりすることで、自分なりの作品を作り上げる活動です。

- (1)人数 160人以内
- (2)対象 小学校3年生～中学生・高校生
- (3)期間 通年
- (4)時間 1.5時間（説明10分+活動80分）
- (5)場所 体育館、研修室1・2
- (6)経費 50円/1作品
- (7)指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



<作品例>

3 準備物

団体	救急薬品
個人	軍手、作品を入れるビニール袋（大）
自然の家	材料：廃材、釘、木ネジ 用具：かなづち、のこぎり、電動ドリル、ホットボンド、木工用ボンド、ポスターカラー、油性ペン、ニス、ブルーシート、作業板、のこぎり台

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



<製作の様子1>



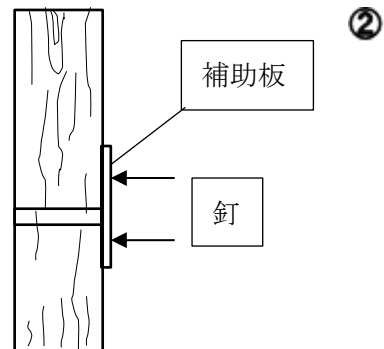
<製作の様子2>



<製作の様子3>

5 活動の流れ

	内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら、作り方について説明 ※自由な発想を大事にしたいため、誘導するような指導は避けることを留意する。 用具の使い方と安全についての説明 後片付けと清掃の指示
活 動	<p>① 山積みにした廃材からイメージをふくらませ、自分の作品に必要な材料を選ぶ。</p> <p>② イメージに従って、のこぎりで切ったり、かなづちで釘を打ったりして、作品を作り上げていく。 ※どうしてもものこぎりで切れなかったり釘を打てなかったりした場合は、引率者（大人）が手助けする。 ※子どもの力ではどうしてもつなぎ合わせられない状況だと判断される時には、木工用ボンドや電動ドリルを使うなど、引率者（大人）が手助けする。 ※長いもの同士をつなぎたい場合の方法など、子どもが助けを求めてきた場合には引率者（大人）が助言する。（右図）</p> <p>③ 釘などでつなぎ合わせたら、ポスターカラーや油性ペンなどで、お好みの色をつけて完成。 ※木材の感じを生かすため、全部に塗らないことなどを助言する。 ※台や椅子などを作った場合、色付けではなく、ニスを塗ってもよいことを助言する。 ※目や口などをつけることにより、何かに見える場合があることを助言するなど、満足感を高めるような働きかけをする。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の作品の鑑賞 用具の返却と後片づけ



6 安全に実施するためのポイント

- ホットボンド使用によるやけどやのこぎり等でのけがを防止するため、なるべく軍手をつけて作業する。
- かなづちを強く打つ時には、手をたたかないような押さえ方などを指導する。
- のこぎりを扱うときは、刃の前に指や手を置かないように指導する。
- 低、中学年が実施する場合は大人がつくことが望ましい。

口金がとても熱くなるので、やけどの危険がある。



<グルーガン>

本体が十分冷えてからコードを結び、返却する。

出てきたばかりの接着剤もとても熱いので、注意する。